

令和元年度第一回練馬区消防団運営委員会議事要録

1 日時

令和元年 8 月 28 日 (水) 15 時 00 分から 16 時 30 分まで

2 会場

練馬区役所本庁舎 7 階防災センター

3 委員長および委員の出欠状況

(1) 出席者

前川委員長、おじま委員、柴崎委員、柴田委員、小川委員、井上委員、福島委員、
鳥海委員、小林委員、木下委員、伊藤委員、土田委員、青柳委員、吉田委員、
杉森委員

(2) 欠席者

小林委員、白石委員

4 議事内容 (要旨)

(1) 開会

【練馬区危機管理室長 (司会進行)】

令和元年度第 1 回練馬区消防団運営委員会を開催する。

(2) 委員紹介

(委員の紹介)

(3) 委員長挨拶

(委員長の挨拶)

(4) 議事

【事務局 (光が丘消防署警防課長)】

(資料について説明。)

本年3月19日の練馬区消防団運営委員会において、実施のご了承をいただいた消防団員に対するアンケートの内容等について意見をいただき、アンケート調査を実施したい。アンケート内容等について説明。

【練馬区危機管理室長（司会進行）】

以上の説明に対し、ご質問、ご意見等は。

【委員】

「 . 消防団員の活動能力向上に向けた方策」や「 団員のスキルアップの方策」、「 . 女性団員の入団促進に向けた活動環境の改善」というのは、組織力を上げるためには必要なアンケートだと思う。

ただ、「 . 機能別団員制度の活用」は組織力が強化に繋がるか疑問に思う。

「 . 活動負荷の軽減」についても体力面の不安以外の退団の理由もあると思う。

組織力の強化ということでは学生の活用も方策の一つであるのではないかと思うがいかがか。

【事務局（光が丘消防署警防課長）】

「機能別団員」というのは、年齢、体力等で負担を感じている消防団員の方に任務絞って活動していただく提案として考えている。学生団員を機能別団員とするのか、今までどおり、管内に居住する学生を学生団員として扱うかも含め、機能別団員というものを摸索していくのも、一つのあり方だと思っている。

【委員】

「 . 機能別団員制度の活用」の件で、「質問1」の選択肢にある「 パートタイムを導入する」というのは、アンケートの趣旨と合わないような気がする。消防団の実情と合わないとも考えるが、その点について伺いたい。

【事務局（光が丘消防署警防課長）】

深夜時間帯の活動と日中という意味での時間制限ということで、限定的に活動していただくという意味である。

【委員】

質問の意味が伝わりにくいかもしれない。

【事務局（光が丘消防署警防課長）】

表現については、検討する。

【委員】

機能別団員制度というのが、練馬区に馴染むか疑問である。機能別団員と基本団員との切り分けを方の定義をはっきりしないと進まないと思う。前提がしっかりしていないと、うまくいかないということが課題としてあると思う。

【事務局（光が丘消防署警防課長）】

今はっきりしない活動面を限定したり、任務を広報とか応急救護に限定する等し、「限定」という表現の仕方で機能別団員を表現しております。その辺りを、アンケートで団員に周知したい。

特別区では、今回の諮問答申を受けて、機能別団員のあり方というものを模索しているところである。「練馬区ではこういう形でないと機能別団員を実現できないのではないか」ということを、アンケート調査と合わせて提言していければ良いと思っている。

【委員】

の質問2では機能別団員が活用できる項目というものをお聞きする意図を確認させていただきたい。

【事務局（光が丘消防署警防課長）】

「質問2」は分団施設の充実を踏まえて聞きたいと考えている。大規模災害の際に消防団員がすべて出場したあとに、傷病者が来たり、駆けつけてきた人がいた場合、分団施設の管理、運営をする方も必要である。

そこで、今挙げたような、施設の運営、管理を行うとか、施設を提供できるといった形の機能別団員というものも、よいのではないかと考えて提案させていただいた。

【委員】

「質問6」の、団員のスキルアップという項目で「資格取得の助成金」という選択肢がある。資格がなくても、ガスや石油、電気などの特性をよく団員が勉強していると、火災現場での対応もできる。したがって、講習会の開催や専門家による指導などに対する受講料の負担等も考えていただければと思う。

【事務局（光が丘消防署警防課長）】

東京消防庁でも、メール等で、消防団員の方が勉強できるようなシステムを導入して、団員のお手間にならない範囲で勉強できる、知識が得られるようにいる

いろいろ対策を講じている。消防団員がいろいろな危険をいち早く察知していただくためにも、教養として伝えることは必要だと思いますので、参考にさせていただきたい。

【委員】

検討されている軽量型の資機材の重さは5 k gから何k gぐらいに軽くなるのか。

【事務局（光が丘消防署警防課長）】

約2 k g。ホースが若干細くなる。

【練馬区危機管理室長（司会進行）】

他に何かあるか。これをもって議事を終了させていただく。

（5）代表消防団長挨拶

【光が丘消防団長】

消防団代表挨拶

（6）事務連絡

【事務局（光が丘消防署）】

事務連絡

（7）閉会

【練馬区危機管理室長】

以上で本日の消防団運営委員会を終了する。ありがとうございました。